

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.27
1・2月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



前橋 汀子 PHOTO:篠山 紀信

5年にわたるシリーズ、いよいよ最終年！

== INDEX ==

『東へ西へ Special!』

前橋 汀子さんを訪ねて

さくらプラザ アートバザール 2018
第5回 区民企画

連載

なるほど！ THE LEAPS の戸塚お稽古道場
コンサート・レビュー
吹奏楽の達人
男は背中で物語る 戸塚見返親仁
出張！ 戸塚新聞

『東へ西へ』Special!

第11回 前橋 汀子さんを訪ねて

田中 啓介



田中 啓介 (以下、田中) : 5年にわたるシリーズも、いよいよ最終年に入りますね。

前橋 汀子 (以下、前橋) : 本当にあつという間でしたね。新しくできたばかりのさくらプラザホールでの新シリーズ。この先5年間、来てくださるお客様にどうしたら喜んでもらえるかしらと、当初は悩みました。毎回たくさんの方に聴いていただいて、とても嬉しく思っています。

田中 : シリーズ初回は即日完売ということで、2回目からは抽選にしました。

前橋 : リピーターの方も多いようですね。「今回はこの曲目にしよう」「こんな組み合わせにしよう」と、ヴァイオリンの様々な魅力を聴いていただけるようプログラムを考えたことも楽しかったです。

田中 : お客様のほとんどは戸塚区民の方です。これは非常にめずらしいことだと思います。

前橋 : こういった長い期間のお話をいただいたのは初めてだったんです。まったく先の想像ができませんでしたね。本当にお客様が来てくれるのかな、という心配も実はしていました。

ヴァイオリンの曲はまだたくさんありますので、機会があれば今後もぜひ戸塚で演奏したいですね。

それにしても、ホールもずいぶん音が落ち着いてきましたね。最初に演奏した頃よりもホール自体が慣れてきたというか……。弾きながら、同時に観客になれないのが残念なくらいです。

田中 : 我々としても年2回前橋さんの公演があるということで、背筋が伸びる気持ちです。演奏家がコンサートを行うということは、本当に大変なことではないでしょうか？

前橋 : 歳を重ねると本当にそう思います(笑)。でも聴いてくださる方がいるから演奏できます。クラシックは新しい何かを創作するわけではないですよ。ただ、数え切れないほど弾いている曲でも、弾くたびに「なるほど、こういうことなのか。それでは次はこういう風に弾いてみたいな。」という想いが常にあります。同じ曲を弾いてみても、歳を重ねることによって、曲に対する想い、感じ方が変わってきているんです。だから飽きるということは今のところありません。そこが、名曲として長年みんなに愛されているということの証なんですよ。

田中 : “珠玉の名曲”と呼ばれるものをやらなくては、と以前よりおっしゃっていましたね。

前橋 : そのように毎回心がけてきました。楽しんでもらえて、来て良かったと思ってくださるような音楽会にしたいと。最終回(2018年12月)はクリスマスコンサートを考えています。クリスマスメドレーなど、楽しく盛り上がり締めくくりたいと思っています。

田中 : これまで4年間の取組みの中で、特に思い出深いことはありますか？

前橋 : 1回1回がとても大切に思い出深いですね。シリーズ企画によって実現したピアノトリオ、そしてカルテットではベートーヴェンを弾いて……。試行錯誤しながらも、いろいろな曲目・パターン・スタイルで、多くの方に聴いていただくことができとても嬉しいです。限りのあるヴァイオリン人生の中で、シリーズのお話をいただいて、改めて感謝をいたします。

田中 : カルテット(弦楽四重奏)は戸塚で初めて演奏されたのでしょうか？

前橋 : はい、3年前が初めてでした。やりたいという気持ちは若い時からあったのですが、ずっとソロの活動をしていたのでチャンスがなかったのです。カルテットのメンバーは本当に素晴らしい方ばかりですね。ただ、みなさん忙しく練習の時間をとるのが大変でした。限られた時間の中で、経験豊かなチェロの原田(禎夫)さんがリーダーシップをとってくださり、アドバイスをしていただきました。私自身、ベートーヴェンがずっと弾きたかったんです。誰かの演奏を聴くのではなく、ステージで自分が音を出して、その響きを体験できるという喜び! 本当に長いこと望んでいたんです。

カルテットで弾くということは、楽譜の見方や弾き方など、ソロとは全然違います。例えば同じ4分音符でも、ソロで弾く時とカルテットで弾く時では、弓のスピードだったり、ピブラートのかけ方だったり、指の押さえ方の圧力などが微妙に違うんですよ。そういうことは練習を重ねてきた中で、ものすごく勉強させてもらいました。「そうか、こういうことなのか!」と眠っていた細胞が起こされるような。直接カルテットには関係ないかもしれないけど、いろいろなことに対して「もしかしてこういうことかな」と刺激を与えてもらいました。

それから、4人でハーモニーを作り上げるということは、常に相手の音を聴いていなければならないですよ。聴くという意識がなくても、自然と入ってこなければならぬ。そういうことも様々なことに応用できると思います。曲と少し距離を置き客観的に見る、という訓練にもなりました。ソロを弾く上でも大事なことです。コンチェルトを弾く時にも応用できます。

音が全部鳴っているところをイメージして、少し距離を置いたところで、自分を見つめると言いますか。

田中 : キャリアのある方が新しいことにチャレンジするというのは、とてもリスクが大きいと思います。それでもやりたいと思われたんですね。

前橋 : カルテットは4人が平等だということもありますが、ある部分はソリスト的な要素もあっていいと思うんです。初めての経験でしたので、最初のうちはそのあたりの兼ね合いがよくわからなくて。少しずつカルテットの本当の面白さがわかってきたかなという感じです。原田さんにも「少しカルテットの音らしくなってきたね」なんて言っていただきました(笑)。

田中 : 実際にお客様の前で弾いてみていかがでしたか？

前橋 : ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は曲としては素晴らしいのですが、一般に聴き慣れている曲ではないと思います。初めて聴く方が多いとは思いますが、みなさん真剣に聴いていただけてとても嬉しかったです。改めてベートーヴェンの偉大さにも気づかされました。ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は16曲ありますから、1曲でも多く演奏する機会があるといいなと思っています。

田中 : 次回6月の公演で共演されるピアニスト、マルティロシアンさんはどのような方ですか？

前橋 : ピアニストでもあり指揮者でもある方です。曲へのアプローチに共感でき、彼との共演をぜひ皆さんに聴いて欲しいと思いました。それから、旧ソビエト連邦のアルメニア生まれなんです。彼もその時代の教育を受け継いでいる学校で学んでおり、私たちはロシア語で話すんですよ。私自身が旧ソビエト連邦で勉強していた時にアルメニアからの留学生もいたので、どこかノスタルジーも感じるんですね。



若林頭ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲のシリーズが終わった。3年半にわたり、22回のコンサートが行われた。その最終回、あらためて感じたことを記す。

若林といえば、あの太い指から生み出される力強い演奏に目を奪われることが多いが、多彩で音色豊かな音楽が魅力だ。シリーズの最後は、その豊かな表情に満ちた奥深いプログラムだった。

若林は、音を置いていくように一つ一つの音を奏でる。楽曲の、そしてさくらプラザという空間の、さらにはその向こうにある宇宙の、その音が本来あるべきところへと、一つ一つ慎重に音を配置していく。ピアノでもフォルテでもその繊細な作業に変わりはない。それは、ショパンのエチュードにおいて極まる。クラシックを聴ききれない者にも、丁寧に音が配置されるように感じられる。立ち上がりにも、丁寧に音が配置されるように感じられる。色彩豊かな音の層が積み重なり、深い音楽、音の宇宙が現出する。まるで点描画を描くような細かなタッチが生み出す陰影。一枚の絵がそこに浮かびあがる。精密な腕時計を作る職人のような細かな作業が丁寧に繰り返され、その繊細さ精緻さはベートーヴェンの「熱情」においても比類がない。



【アンコール】
リスト:コンソレーション第3番
モーツァルト:メヌエット K.1
チャイコフスキー:
くるみ割り人形より「終曲のワルツとアポテオーズ」

2017/11/10(金)19:00開演
シリーズ最終回
若林 頭セルフプロデュース
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全32曲
Vol.22/アンコールVol.3

プログラム
ショパン:エチュード
Op.25-1「エオリアン・ハープ」
Op.10-3「別れの曲」
Op.10-5「黒鍵」
Op.10-12「革命」
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 Op. 57「熱情」
ベートーヴェン=リスト:交響曲 第6番 へ長調 Op. 68「田園」

ふと、ある小説の一篇を思い出す。夏目漱石の『夢十夜』の中の一編だ。運慶が仁王像を彫っているというので見に行つた。運慶は、木の中に埋まっている仁王像を掘り出しているだけだった。それを見た私は、木材を買って帰ると自分も掘ってみた。木材の中に仁王像は埋まっていなかった。明治の木には滅多に仁王像は埋まっていなかった。そんな話を。

日本画の平山郁夫は、「色を置く」という表現をしていたという。それは、本来あるべき場所を知り、その者だけに出来る精密な作業だ。若林のピアノは、そんな芸術の普遍的なフィロソフィを感じさせる。その美しくバランスした宇宙が余すところなく表現された最終回だった。新しく始まるショパンシリーズにも期待したい。

さくらプラザ前館長 田中啓介

田中：留学時代のお話をお聞かせいただけますか？

前橋：私が留学していた1960年代は、旧ソビエト連邦の最盛期でした。もちろん今も素晴らしいですが。聴衆も、とても水準の高い音楽家の演奏を聴いて育っているんです。音楽を勉強していなくても、日常生活で聞こえてくるのが、エフゲニー・ムラヴィンスキーの指揮するレニングラード・フィルなどの素晴らしい音楽家たちのコンサート。そのため、芸術に対する意識・理解、文化に対する伝統があるんですね。素晴らしい国だと改めて思っています。実際に生活して、その空気を共有できたという体験だけでも貴重なことだったと思います。



チャイコフスキーは、後に私も住んだスイスの土地で「ヴァイオリン協奏曲」を作曲しました。当時は自分がスイスに住むなんて思いもしなかったけれど……。そういうこともあって、私にとって特別な曲なんです。運命的な繋がりを感じましたね。

田中：まだ10代の頃ですね。

前橋：17歳の頃ですね。そういえば先日大阪で、チャイコフスキーの「ヴァイオリン協奏曲」を演奏したのですが、本番中 留学時代の寒くて薄暗い寮の映像が、急に頭に浮かんだんです！ 当時チャイコフスキーがどうしても弾けなくて、毎日涙して……。日本には帰れないし、弾けないし。そんな打ちのめされた時代のことが、急に浮かんだんですね。

田中：これからいよいよ演奏生活 60年に向かわれますね。

前橋：あまり数字で括りたくはないんですけど(笑)。ひとつの励みにはなっています。これからも私の演奏を聴いていただけるといいなと思っています。少しでも長く、弾くことを続けられたらいいなと思っている日々です。

チャイコフスキーの音楽を理解するには、オペラや他の曲からもアプローチしろと言われました。日本でそんなことを言われても、現在ならCDがあります。日本では当時は無理じゃないですか。ところがあの時代のソビエトでは、日替わりでオペラを上演しているわけです。それを観に行き勉強して。朝から夜遅くまで3年間も、あんなにも勉強した時代はないですね。日常生活は不便で。物はないし、食べ物を手に入れるには並ばなくてはならないですし……。いろいろな想いが重なって、演奏中にそんな光景が浮かんだのでしょうか。映画のワンシーンのように。そんな時代を過ごした私がステージでチャイコフスキーを演奏して、感慨深かったです。

田中：最後に戸塚のお客様へメッセージをお願いします。


前橋：あつという間の5年間でしたが、いつも応援してくださいありがとうございます。

聴いていただきたい曲もまだまだたくさんあるので、弾き続けていられる間はさくらプラザホールで演奏できたら嬉しいです。足を運んでいただければ嬉しいし、励みになります。年2回のプログラムをどのようにしたらいいのかと毎回考え、私もとても勉強させてもらいました。本当に充実した4年間でした。

田中：当時はそんな姿を想像できましたか？

前橋：もちろんできません！ それどころか、ヴァイオリンを弾き続けるとは思っていませんでした。ソロで弾くなんて！

(構成・文・写真：桑田春花)



前橋 汀子 Teiko Maehashi
2017年に演奏活動55周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味あふれる演奏で、多くの聴衆を魅了し続けている。2004年日本芸術院賞。2011年春の紫綬褒章、2017年春の旭日小綬章を受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・ガールネリウス。

田中 啓介 Keisuke Tanaka
(株)神奈川共立 施設管理部長。神奈川県公立文化施設協議会幹事(事業副委員長)。横浜市区民文化センター・市民プラザ館長会議議長。STスポット、栄区民文化センター、広島県三原市芸術文化センター、戸塚区民文化センターにおいて館長兼事業プロデューサーを歴任。

前橋 汀子 プロデュース Vol.9 ヴァイオリン 珠玉の名曲集4
2018年6月10日(日)14:00開演(13:30開場) *詳細はチラシをご覧ください。

吹奏楽の達人 Vol.5

東京音大での指揮者・汐澤先生との出会い、そしてトランペットの師匠 津堅直弘先生(元 NHK 交響楽団首席奏者)からたくさんの教えをいただきプロの演奏家として社会に出ることになりました。大学時代の貴重な経験は本当に大きな財産となって今の自分を支えてくれています。

卒業と同時に、伝統ある「東京吹奏楽団」(以下、愛称で東吹)の一員として演奏活動をさせていただいていること、それが今でも続いていることが信じられないくらいです。東吹は創立50年を越える楽団ですが、様々な演奏活動を展開しています。定期演奏会、各種イベントでの演奏、ジョイフルコンサート(小編成によるシリーズ)、全国各地での学校音楽鑑賞会等です。

特に力を入れているのが学校音楽鑑賞会で、小中学生や高校生向けのコンサートを展開しています。吹奏楽を広く楽しんでもらうために重要なのが、コンサートの「プログラム」です。東吹もこのプログラミングにこだわっています。

そこで今回は吹奏楽のコンサートのプログラミングについてお話ししましょう。吹奏楽はクラシックのオーケストラに比べ様々なジャンルの音楽を演奏することが多いと思います。(確かにクラシックの管弦楽に比べ吹奏楽のオリジナル作品は少ないこともあります)

レパートリーとしては ●吹奏楽オリジナル作品(吹奏楽のために作曲されたもの)

- クラシックアレンジ(管弦楽曲等を吹奏楽にアレンジしたもの)
- ポピュラー音楽(ジャズ、映画音楽、ミュージカル、様々なポップス、日本の音楽)といったものが主流ですね。

演奏会で色々なジャンルの音楽を演奏出来ることも魅力のひとつだと思います。

コンサートをどんなプログラムで作り上げるかがとても重要です。前にも少し触れたように、吹奏楽は管楽器の集まりなのでサウンドはまとまり安いのですが、音色(色彩感)等に变化をつけることが難しい部分があります。それをどのようにカバーするかプログラムを決めていく上でのポイントになるでしょう。

いづれにしても演奏する側も聴衆も楽しめるコンサートにしたいですね!

トランペット奏者 杉本 正毅 Masaki SUGIMOTO

TBS系ドラマ「仰げば尊し」モデルである神奈川県立野庭高等学校卒業後、東京音楽大学で津堅直弘氏に師事。東京吹奏楽団で演奏する傍ら日本の主要オーケストラやミュージカル等、また海外アーティストのツアーでも演奏活動をしている。現在、東京吹奏楽団トランペット奏者、洗足学園音楽大学、上野学園大学各講師。日本トランペット協会常任理事。ナカザワキネン野庭吹奏楽団音楽監督。



聴く? 食べる!? 観る?..

戸塚区民文化センター
さくらプラザ

アートバザール 2018

「アートバザール」とは、さくらプラザ利用者・アーティスト・区民の皆様の文化的交流イベントです。
ピアノ・管弦楽の演奏や絵画・手工芸作品の展示販売、フィットネス体験、農家や商店の直売コーナーなど盛りだくさんでお届けします!
*各出演者の詳細は、1月上旬発行のチラシをご覧ください。

4F ホール

※出演順・曲目は予告なく変更する場合がございます。

2月24日(土) 全席自由 450名
14:00 ~ 16:15
(13:30 開場)

1 ナカザワキネン野庭吹奏楽団によるアンサンブル

横濱ビー・コルセアーズ ファンファーレ、上を向いて歩こう 他



2 ベンティ シエテ ビエルネス (folklore = 南米の民族音楽)

ブレリナス、カルナバルメドレー、エルアンティガル



3 Fazz Club (サクソフォンアンサンブル)

当日のお楽しみ

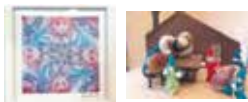


4 創造空間 Lula&Popo (ライアー演奏)

ずっと耳に残る響き、精霊の踊り、
ライアーとフルートのためのカノン、アメージンググレイス



【ホワイエにて展示】
2月24日(土)11:00 ~ 16:30
【展示】羊毛メルヘン人形



5 スティールパンデュオ (ニノ宮千紘・小針彩葉)

リトルマーメイドより「Under the Sea」他



6 DuoLaLa with TeamSwans (ピアノ・ヴァイオリン・紙芝居)

白鳥の湖



7 白川優希 (ピアノ演奏)

リスト：バラード第2番 口短調



8 田口昌範 (テノール) / 小林滉三 (ピアノ)

Caro mio ben、
オペレッタ「微笑みの国」より 君は我が心のすべて 他



3F ギャラリー

2月22日(木)13:00 ~ 17:00 / 23日(金)10:00 ~ 17:00 /
24日(土)10:00 ~ 16:00

1 大森 洋太郎

【展示】切り絵、水彩画・コミカルなペン画



2 舞岡スケッチクラブ

【展示】絵画



3 アートクルール

【展示】デコパージュ、
ワンストローク ペインティング



4 大谷 和一

【展示】絵画



5 とつかアートプロジェクト

【展示】美術(水彩)・手工芸



6 神奈川県きりえの会

【展示】きりえ額装・色紙、カード、
はがき仕立て



7 タイシルクハウス

【展示】タイの村の女性達による養蚕から
はた織りに至る布作りの様子の写真



8 恒陽彩会スケッチ部

【展示】水彩画 F4 ~ F6号 6点



9 恒陽彩会グループ

【展示】各教室の水彩画 11点



10 四季彩の会

【展示】透明水彩画



11 キルト組「空」

【展示】パッチワークキルト



12 YOKOHAMAN

【展示】写真・イラストを中心に 10 ~ 20点程度



4F 練習室・ホール前

すべて2月24日(土) *練習室イベントの時間は会場により異なります。

リハーサル室/殺陣実演&ミニワークショップ

講師：劇団 EASTONES 座長 石田武



練習室1 / クロマチックハーモニカ

出演：山下伶

♪カヴァティーナ、川の流れるように、エル・クンバンチェロ 他



練習室2 / THE LEAPS ライブ

♪SAKURA、ファンタスティック RADIO

皆が知ってる?カバーも披露!



練習室3 / ギター・ウクレレ体験コーナー

協力：ハマヤ楽器西口センター



練習室4 / 「ボディワークス」ピラーティス体験

講師：橋本佳子



ホール前/さくらプラザマルシェ 11:00 ~ 14:00

昨年度も好評いただいた、近隣にある農家や商店の直売コーナーです。

café pâtisserie bar KIKUZO-

ブラウニー、クッキー、マドレーヌ、マカロン、ラスク 他



創作和菓子処 葉匠 栗山

笹だんご、栗きんづば、ご利益まんじゅう、切り餅 他



とつか青果

みかん、りんご、いちご、大根、ほうれん草、キャベツ、
乾燥やさい、乾燥くだもの 他



サクふわ「やさばん」

やさばん (ほうれん草、たまねぎ、とまと)



第5回 区民企画 事業

2018年1月～3月開催

区民によるさまざまなジャンルの文化芸術活動を募集し、地域の賑わいに務める「区民企画事業」。
5回目となる今年参加される団体を紹介します。
ホールでは、吹奏楽で楽しむバレンタインコンサート。
リハーサル室では、朗読を。
ギャラリーでは、写真展と子どもたちによるアート作品の展示を行います。
ぜひこの機会にお楽しみください。皆さまのご来場をお待ちしています！

さくらプラザ ホール (4F)



ブリティッシュプラス ラヴィアンローズ
British Brass LA VIE EN ROSE
「バレンタイン コンサート 2018」

2018年1月28日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

戸塚区を中心に活動しているブリティッシュスタイルの金管バンドです。洋楽、邦楽や映画音楽など、馴染みのあるプログラムで2018年のバレンタインを彩ります。

曲目 美女と野獣、青い珊瑚礁、Mr. ベースマン、八木節 他

チケット代 無料

リハーサル室 (4F)



カトレア (朗読) の会
「第三回 新春語りライブ ～古屋和子と仲間たち～」

2018年1月27日(土) 13:45 開演 (13:20 開場)

女優古屋和子と仲間たち(俳優、魅惑のストーリーテラー)による明治・大正・昭和の文豪たちの名作を迫真の語りで耳から楽しむことができる新春恒例の語りの会。

チケット代 2,500円

さくらプラザ ギャラリー (3F)



フォト夢とつか『みんなの写真展』

2018年1月23日(火)～1月29日(月)
10:00～17:00 (初日13:00から/最終日15:00まで)

自由・テーマ「主役が花」・組写真。写真と川柳のコラボ作品。

展示内容 写真部門・フォト川柳部門

入場料 無料



造形教室むむていあ
『造形教室むむていあ&めいめい会』
〈ここからはじまるアート展〉

2018年2月28日(水)～3月4日(日)
10:00～17:00 (最終日16:00まで)

「むむていあ」と「めいめい会」は戸塚区と泉区内で活動する造形の教室・サークルです。そこに集う“ものづくり”が大好きな子どもたち、個性豊かな青年たちの、心と手から生まれたユニークなアートを展示します。

入場料 無料

「第6回 区民企画事業」は2018年春頃募集を予定しております。
【対象事業】
戸塚区民文化センターさくらプラザで行なう公演、展覧会、ワークショップ等の文化事業
【利用特典】
さくらプラザ後援及び優先予約
さくらプラザ HP・情報誌等での広報活動の協力



THE LEAPSが様々なお稽古事を学び、成長していく汗と涙の(?)サクセスストーリー連載「戸塚お稽古道場」第5回も、2人が連載当初から習って来たかったことにチャレンジです!

今回のお稽古のロケーションは戸塚駅東口すぐ、「ラピス戸塚 2」ビルの3階にあります。有隣堂戸塚カルチャーセンターにお邪魔しました。カルチャーセンターにはお稽古事がたくさんあります!音楽教室はもちろんのこと!英会話、ダンス、手芸、絵画、囲碁、麻雀、空手……書ききれないくらい、たくさんの教室が開かれています。



なかやま かえい
その中で今回は「大人の書道入門」クラスの中山 佳栄 先生にご指導いただきました!
ちなみにまゆ・ななえ共に書道歴は……
口を揃えて「小学校の授業でやった以来!」
いつも思うけど、本当に大丈夫!?(汗)



教室の中に入ると、生徒さんの世代も主婦の方やお仕事帰りの方など様々!皆さんそれぞれの自分に合った課題に取り組んでいました。さっそく2人も習字セットを準備して(久しぶりに触る習字バッグに感激)、お稽古スタートです。



「まずはお2人がどんな字を書くのか見せてください!」とお手本をよ〜く見ながら「永」という漢字を自分なりに筆を走らせてみます。筆に付ける墨汁の量に悪戦苦闘しながら(書道初心者あるある)、なんとか書き上げそれぞれ添削いただきました。「2人とも中々良い感じ!(中山先生☆談)」のお言葉にちよっぴりホッとするリースちゃん。

そして、止め、跳ねなど書道の基本をご指導いただきました。当たり前だけ筆のコントロールって難しい!次の課題は、バランス感覚が大事!「道」という漢字を清書します。集中して課題に取り組んでいくうちに何だか心が癒され、清らかな気持ちになっていくのが分かります。書道って大人になってから再び始めると……ものすごくハマリそう……。

最後は中山先生にもお褒めいただいた作品を教室のホワイトボードに飾っていただきました!
うん……書道って……イイ!!!
集中して取り組んで作品を書き上げる事は、普段リースちゃんが活動している上で欠かせない「曲作り」と共通する部分もたくさんあるなあ……☆なんて気持ちにもなりました。

THE LEAPS(ザ・リース)
横浜市戸塚区出身。
Gt&Vo.MAYOUとDr&Vo.NANA-Aからなるギターとドラムの2ピースバンド。
2/24(土)には久しぶりにリースちゃんがさくらプラザにて演奏します。
アートバザールに遊びに来てね! ※詳細はP.6をご覧ください。

ゆうりんどう
協力:有隣堂 戸塚カルチャーセンター
横浜市戸塚区戸塚町8番地
ラピス戸塚2 3F

「大人の書道入門」
〈開講日〉第1・3金曜日
18:15~20:15

新たな「道」を開いたリースちゃん。
今回はどんなお稽古事にチャレンジするのでしょうか。
2018年も、情報誌「SAKURA」と共にTHE LEAPSの応援を
よろしくお願致します♡

男は背中 で語る 戸塚見返親仁

其之
二十八

トツカミカエリオヤジ
商店のご主人など、戸塚区内で働いているオヤジ世代をご紹介しますコーナーです。



「お店は一人でやられているんですか?」
そうなんです。路地裏にあるので、なかなか気づいてもくれないのが悩みですね! せひランチも食べに来て下さい。特にデザートが好評いただいていますよ。テイクアウトのお菓子だと、アートバザールでも販売する、フルーツケーキ、チョコブラウニーが人気商品です。

「おすすめのデコレーションケーキについて教えてください。」
季節のフルーツをメインに、お任せいただいて作っています。同じフルーツを使っているけど、配置を変えたり、チョコレートの飾りなどで工夫しています。ちょうど今日、グレープフルーツを使ってウエディングケーキを作っています。

開店してまだ1年、知る人ぞ知るお菓子屋さん!
「Café Pâtisserie bar KIKUZO」
2018年2月24日(土) さくらプラザ アートバザール2018に出店くださることが決定しました。お店以外での販売は初めてのとのこと。
お菓子屋さんではありますが、ランチタイムには、カレーやタコライス、それ以外にお酒をいただくこともできます。



カフェ パティスリー バー キクゾー
Café Pâtisserie bar KIKUZO-
店長 菊池 章弘(きくち たくひろ)です。

顔見世

冬はやっぱりイチゴがメインですね。3日前までにご注文いただければ大丈夫ですよ。
「いろいろなお酒が置いてありますが、店長さんの好みですか?」
実は、あまりお酒は得意ではないんですよ(笑)。旬のフルーツを使って、自家製サングリアを出しています。この前までは桃。今の時期は、洋ナシですね。日本の梅酒などと違って、そんなに長く漬けておかないで、2、3日で飲めるようになります。パニラを入れるのが、僕のこだわり。甘くて、優しい風味が移ります。



「仕事の合間でなければ、せひサングリアをいただきたいところ、ぐっ」と我儘。お店の中に漂う甘い香りに、幸せ気分になりました。ありがとうございました!

親仁に逢いに行こう!
カフェ パティスリー バー キクゾー
Café Pâtisserie bar KIKUZO-
横浜市戸塚区戸塚町 4897-2
TEL.045-871-6750
※不定休なので、確認していくほうが安心かも。



次号の親仁は……?

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を鋭意取材中! 詳しくは「戸塚新聞」で検索!

#12 音 ライバー『戸塚LOPO』

今宵は珍しく夜遊び夜のお仕事です。アコースティックが中心のライブハウスですが、実は区民にもあまり知られていない隠れ家的存在。現在LOPOでは月間12~13本のライブを開催しており、アットホームな雰囲気の評判をよび2005年のOPEN以来、フォーラム(男女共同参画センター)の向かい側。戸塚駅から徒歩5分ほど柏尾川沿いにあります。日中はし〜んとして、しかし日が落ちるとオレンジ色

の灯りが点いて、賑やかな音楽と心地よいざわめきが迎りを包みます。内部では親密な集まりが持たれている様子。現在LOPOでは月間12~13本のライブを開催しており、アットホームな雰囲気が評判をよび2005年のOPEN以来、音楽愛好家の間ではなかなか人気らしい。レンタルスタジオもやっています。本格機材アリ。外観はやや古めかしい。看板もちょっと壊れかかっている。おシャレ&リッチピープルでなく

ても、臆せず入れるのがいいところ(笑)ちなみに内装はマスター自ら手掛けたそうで、中はキレイで快適です(笑)初めての人は戸惑うかもしれませんが……ライブハウスの入り口は右側。(地味でソレっぽくない)左側がバーの入り口。中でつながっていないので、移動する場合はいちいち外へ出る必要がある、という変わった構造。……続きはwebで!



今回取材したお店
戸塚LOPO
http://lopo.jp/
戸塚区上倉田町459-11
090-4614-2280(ヒロタ)
営業時間:19:00~24:00
不定休

Information
「戸塚新聞」とは
戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索!
検索

チケットはお電話(045-866-2501)でご予約いただけます。(一部除外あり)
 詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 ※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

新春さくらプラザ寄席「泣く落語」

～其の伍 たちきり～

橘家文蔵、入船亭扇辰、柳家小せん、
 春風亭正太郎、林家楽一





好評発売中

1/7(日) 13:30
 全席指定 一般 3,000円
 横浜市民 2,500円

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Vol.8 カルテット&ピアノ五重奏 傑作選

鈴木 理恵子(Vn)、吉村 知子(Vn)、
 川崎 和憲(Vla)、藤森 亮一(Vc)、若林 顕(Pf)




好評発売中

2/18(日) 14:00
 全席指定 一般 3,000円
 ペアチケット 5,000円/学生 1,500円

鈴木理恵子さん・若林顕さんの写真 ©Wataru Nishida ©林龍代樹

アンコール JAZZ NIGHT

ジャズと映画の世界へ

Grace Mahya (Vo, Pf)、
 渡辺 裕之 (Ds)、米木 康志 (B)





好評発売中

3/23(金) 19:00
 全席指定 一般 3,000円
 ペアチケット 5,000円

活動弁士・ピアノ演奏付 名作無声映画上映会 「オペラ座の怪人」「チャップリンの冒険」

澤登 翠 (活動弁士)
 新垣 隆 (Pf)





まもなく発売

4/13(金) 14:00
 全席指定 1,500円

Ticket さくらプラザ電話予約 1/26(金)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

こぼんだウインズによる アンサンブルコンサート

3/28(水) 15:30
 全席指定 1,000円



©有楽朝日ホール(主催:朝日新聞社)

同日開催

ぼんだウインドオーケストラメンバーによる 管楽器クリニック

受講料 1,800円
 *クリニック講師によるコンサートチケット代含む。
 *クリニック参加者は講師コンサート公開リハーサルの鑑賞が可能です。

対象 中学1年生～高校3年生
 (2018年3月時点/楽器を持参できる方)

まもなく発売

Ticket さくらプラザ電話予約 1/5(金)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

名曲サロン シリーズ

《各回共通》第1回 11:30/第2回 14:30
 全席自由 800円 会場:リハーサル室

2/3(土) Vol.12 春を招ぶ バレンタインコンサート

第1回・第2回ともに完売





吉府 充希子(Sop)
 新津 耕平(Ten)
 片野 敦子(Pf)

4/24(火) Vol.13 ピアノを楽しむ時間



林 朝美(Pf)

まもなく発売

Ticket さくらプラザ電話予約 2/4(日)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から


さくらプラザ アートバザール 2018

ギャラリー: 2/22(木)～2/24(土)
 ホール・練習室 他: 2/24(土) *詳細はP.6～7をご覧ください。

とつかストリートライブ 春フェス 2018

とつかソングコンテスト

3/3(土)13:00～17:00 予定



入場無料

夢いっぱいシリーズ Vol.7

ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪コンサート
 3月号 会場:リハーサル室
 竹田 えり(作曲家・歌手・声優)



まもなく発売


3/2(金) 第1回 10:15/第2回 11:30
 全席自由 300円
 (0歳より有料)

Ticket さくらプラザ電話予約 1/24(水)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

若林 顕 セルフ・プロデュース ショパン・全ピアノ作品シリーズ

ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》

5/25、7/27、9/28、11/16、2019.2/8(金)19:30
 全席指定
 各回 一般2,500円/学生 1,500円
 シーズンシート(5公演セット) 10,000円



©Wataru Nishida

4年にわたる「ベートーヴェン・ピアノソナタ全曲シリーズ」が、2017年11月好評のうちに終了したピアニスト若林顕。その熱も冷めやらぬまま、3年にわたる新たなシリーズがスタートします。

まもなく発売

Ticket さくらプラザ電話予約 シーズンシート 3/17(土)14:00～ 各公演単独券 3/24(土)14:00～ *窓口販売は翌日9:00から

●プレ講座● 2018.3/9(金)19:30～20:30 会場:リハーサル室 *詳細はチラシをご覧ください。

木々が紅葉し始めた頃、侯野別邸を訪れました。大きなヒマヤラ杉の傍の階段を上って行くクラシックな半円形の部屋が見えました。二階の大きな窓から幸運な事に富士山が見え嬉しくなりました。一階の居間は床のモザイク模様と赤い柱がマッチしてとても素敵でした。カール・ハンセンのYチェアに座り、芝生の庭を見ながら美味しい珈琲をいただき至福のひとつを過ごしました。今度はコンサートの日にまた行ってみたいと思います。【ペンネーム: 珠紀】

おたより コーナー

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただく場合がございます。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502
 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F
<https://www.totsuka.hall-info.jp>
 event@totsuka.hall-info.jp

編集後記 新しい年が明けましたね! さくらプラザは2018年8月に開館50周年を迎えます。今後、記念公演等を少しずつお知らせいたしますので楽しみに!(桑田)

Vol.27
 1・2月号